

桜（河口恭吾）：二揚

二揚

中	ぼく
工	く
上	が
合	
上	そば
五	に
中	い
工	る
六	よ
六	

工	き
中	み
上	を
工	わ
工	ら
五	わ
五	せ
工	る
六	か
六	ら

六	さ
八	く
九	ら
九	ま
九	う
八	き
九	せ
八	つ
六	か
五	ぞ
六	え

工	き
五	み
上	と
工	あ
五	る
七	い
六	て
工	い
中	こ
工	う

上	ま
	ぶ
四	し
	い
合	あ
	さ
老	は
合	なぜ
上	か
	せ
工	つ

上	な
	く
	て
四	下老
合	りゆう
工	を
	さ
五	が
	す
工	よう
	に
六	

六	き
六	み
七	み
上	つ
工	め
五	て
五	い
五	た

上	な
	み
四	だ
	の
合	よ
	る
老	は

上	つ
	き
工	の
	ひ
上	か
	り
四	に
下老	
工	ふ
	る
五	え
	て

工	い
	た
六	よ
四	ふ
七	た
八	り
五	で
五	Ah
五	Ah

中	い
工	つ
上	も
合	そ
上	ば
五	に
中	い
工	る
六	よ
六	

工	き
中	み
上	を
工	わ
工	ら
五	わ
五	せ
工	る
六	か
六	ら

桜(河口恭吾) : 二揚

二揚

六	や
八	わ
九	ら
九	か
九	な
八	か
九	ぜ
八	に
六	ふ
五	か
六	れ

工	き
五	み
上	と
工	あ
五	る
七	い
六	て
工	い
中	こ
工	う

工	き
五	み
上	と
工	あ
五	る
七	い
六	て
工	い
中	こ
工	う

四	Ah -
上	Ah -
六	き
五	みが
工	い
工	る

四	Ah -
上	Ah -
六	き
五	みが
工	い
工	る

上	い
四	つ
下老	も
	そ
六	ば
五	に
工	い
中	る
工	よ

合	
四	
工	
四	
工	
四	
合	
四	
工	
四	
工	
四	
工	

一、ぼくが そばにいるよ きみを  
 わらわせるから さくらまう  
 きせつかぞえ きみとあるいてい  
 こう まぶしいあさは なぜか  
 せつなくて りゆうをさがすよう  
 に きみをみつめていた なみ  
 だのよるは つきのひかりに  
 ふるえていたよ ふたりで A  
 h A h